

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	松本大学
設置者名	学校法人松商学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
総合経営	総合経営	夜・通信	2	4	8	14	13		
	観光ホスピタリティ	夜・通信			8	14	13		
人間健康	健康栄養	夜・通信		-		12	14	13	
	スポーツ健康	夜・通信				12	14	13	
教育	学校教育	夜・通信	-	-	14	14	13		
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.matsumoto-u.ac.jp/research/experience/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	松本大学
設置者名	学校法人松商学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.matsu.ac.jp/portal/biz-reports/files/h30/h30-jigyo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	岡谷電機産業(株)代表取締役会長兼TOCキャパシタ(株)代表取締役社長 (前職) 明治大学評議員 (現職) 安田学園評議員 (現職)	平成30年6月1日～ 令和3年5月31日	経営計画の策定・組織運営体制へのチェック機能
非常勤	長野県安曇野市市議会議員・議長 (前職)	平成30年6月1日～ 令和3年5月31日	経営計画の策定
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	松本大学
設置者名	学校法人松商学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)については、学生にとっての分かりやすさという観点や、大学改革の状況等を踏まえながら、毎年全学教務委員会で様式の見直しを行っている。例年秋頃までに検討を終え、次年度シラバス入稿の準備を整えている。</p> <p>11 月中にはシラバス作成に関する FD 研修会と成績評価に関する FD 研修会を開催し、シラバス作成上の変更点や注意点を中心に共通理解を図り、12 月初旬に翌年度の授業担当者に対して作成依頼を行う。</p> <p>シラバスの入稿の締切りを 1 月末頃とし、締切り後、各学部の教務委員が中心となって、第三者の立場から全学教務委員会で決定した様式に基づいて、形式をはじめ必要事項がきちんと記載されているか、表現の統一等点検を行う。</p> <p>授業担当者へのフィードバック、修正依頼を経て、3 月中旬に下記 Web サイト上に公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://portal.matsu.ac.jp/mfufg_c2/bin/MFUFUG00000P.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、学則第 26 条に次のように記載し、厳格かつ適正に実施している。</p> <p>第 26 条 成績評価は、S (秀)、A (優)、B (良)、C (可)、D (不可) をもって表し、S (秀)、A (優)、B (良)、C (可) を合格、D (不可) を不合格とする。</p> <p>2 成績評価と 100 点法による素点との関係については、以下のとおりとする。</p> <p>(1) S (秀) 100 点～90 点</p> <p>(2) A (優) 89 点～80 点</p> <p>(3) B (良) 79 点～70 点</p> <p>(4) C (可) 69 点～60 点</p> <p>(5) D (不可) 59 点～ 0 点</p> <p>3 第 1 項の成績評価による学修成果を総合的に判断する指標として、GPA (Grade Point Average) を用いることができる。</p> <p>4 第 1 項の規定にかかわらず、P は合格として所定の単位を与え、F は不合格とすることができる。</p> <p>5 第 1 項の規定にかかわらず、本学以外で修得した単位を、本学において修得したものとみなし、N として所定の単位を与えることができる。</p> <p>全学的に成績評価の方法・基準を科目レベルで定め、シラバスに明示して公表している。各科目担当者は、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準に基づいて、試験やレポート、受講態度等を適正に評価し、厳格かつ適正に単位認定を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則第26条3項に、学修成果を総合的に判断する指標としてGPAを用いることを明示している。

GPAの具体的な実施方法については履修規程に次のように定めている。

第22条 学則第26条第3項に基づいて、学修成果を総合的に判断する指標として、GPA (Grade Point Average) を用いる。

2 GPAは、学生の各履修科目の成績評点に、その科目の単位数をかけた数値の合計を、履修科目の総単位数で除して算出し、小数点第3位以下は四捨五入する。

3 成績評価に対する評価換算基準は、次のとおりとする。

成績評価記号		ポイント数
S (秀)		4
A (優)		3
B (良)		2
C (可)		1
D (不可)	R (出席不足)	0
	J (受験せず)	

4 GPAの対象外とする科目は別に定める。

5 学則第26条第4項に基づいて、所定の単位認定をしたもの(成績評価記号P及びF)は、GPAの算出対象としない。

6 学則第26条第5項に基づいて、本学以外で修得した単位を、本学において修得したものとみなし認定したもの(成績評価記号N)は、GPAの算出対象としない。

7 再履修する授業科目のGPAの計算については、不合格であった成績(成績評価と単位数)は再履修して修得した成績(成績評価と単位数)で計算する。再履修前の成績(成績評価と単位数)は、GPAの計算に含めない。

各科目担当者は学則並びに履修規程に基づき、厳格な成績評価を行っている。また成績評価に基づいて、適切にGPAを算出している。なお、GPAの算出方法は全学生に配布する「学生便覧」に掲載するとともに、下記Webサイトにおいて公表している。GPAの成績分布状況は、学生による「授業評価アンケート」結果に併せて記載し、適切に把握するとともに、学生にも公表している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/04/2019_seisekihyoku.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針及び卒業の要件は、各学部・各学科で次のように定め、学生に配布する「学生便覧」、「履修登録の手引き」の他、Web サイト上においても公表している。

【総合経営学部】

総合経営学部は、修得単位上の卒業要件を満たしたうえで、次の目標を達成した学生に学士の学位を授与する。

- ・総合経営学科
 1. 地域社会について理解し、地域一般に関する知識を身につけている。さらに加えて企業社会で活動するための基本的素養を身につけている。
 2. 倫理観を含め、社会で活動するための基本的な人間性を身につけている。
 3. マナー・コミュニケーション等、社会人としての基礎能力を身につけている。
- ・観光ホスピタリティ学科
 1. 地域社会について理解し、地域一般に関する知識を身につけている。さらに加えて福祉社会についての基礎知識を持ち、ホスピタリティの知識・技術を身につけている。
 2. 倫理観を含め、社会で活動するための基本的な人間性を身につけている。
 3. マナー・コミュニケーション等、社会人としての基礎能力を身につけている。
- ・卒業要件
 - ①『教養科目』から 30 単位（必修 13 単位含む）以上修得すること。
 - ②『専門科目』から 84 単位（必修 29 単位・選択必修 2～4 単位以上含む）以上修得すること。
 - ③必修科目を全て修得すること。④選択必修科目（4 年次）「卒業研究」、「ワークインフォメーション」、「社会人になるために」のうち 1 科目 2 単位以上を修得すること。
 - ⑤上記①～④の条件を全て満たし、合計 124 単位以上修得すること。

【人間健康学部】

人間健康学部は、修得単位上の卒業要件を満たしたうえで、以下のような力を身に付け、総合的な能力を修得したと判断される学生に対し、学士の学位を授与する。

- ・健康栄養学科

「食と栄養」に関する専門的な知識及び指導実践力をもって食と栄養に関わり、関連する課題把握、並びに課題解決に主体的に携わることのできる総合的な能力を身につけている。

 1. 専門的な知識と実践力をもとに、食と栄養を中心に人とそれを取りまく環境を科学的に探究し、関連する課題解決に主体的に携わることのできる総合的な能力を身につけている。
 2. 自ら生きる現代社会とその成り立ちに関心を持ち、広い分野にわたる分析力・理解力を身につけ、深めた事象の理解のもと、自ら判断し行動できる能力を身につけている。
 3. 地域社会を構成する一人の人間として不可欠な社会的マナーと、相互理解を達成できる能力を身につけている。
- ・スポーツ健康学科

「運動とスポーツ」に関する専門的な知識及び指導実践力をもって運動とスポーツに関わり、健康の維持・増進並びにスポーツの振興に貢献できる総合的な能力を身につけている。

 1. 専門的な知識及び実践力をもって「運動とスポーツ」に関わり、健康の維持・増進並びにスポーツの振興に貢献できる力を身につけている。
 2. 自ら生きる社会と取り巻く環境に関心を持ち、広い視野で分析、理解し、自ら判断して行動する能力を身につけている。
 3. 地域社会を構成する人として必要な社会性とコミュニケーション能力を、実習や実践を通して身につけている。
- ・卒業要件
 - ①『専門分野』の科目群から健康栄養学科は 86 単位（必修 74 単位含む）、スポーツ健康学科は 82 単位（必修 32 単位含む）以上修得すること。
 - ②『教養分野』の科目群から 32 単位（必修 13 単位含む）以上修得すること。
 - ③必修科目を全て修得すること。

④上記①～③の条件を全て満たし、合計 124 単位以上修得すること。

【教育学部】

教育学部は、修得単位上の卒業要件を満たしたうえで、以下のような力を身に付け、総合的な能力を修得したと判断される学生に対し、学士の学位を授与する。

1. 長野県の初等教育を誠実に担って行こうとする意欲を持った人材 [地元力]
学校教育の周辺分野において、学校現場をサポートできる力量を持ち、地域社会の発展と地域文化の振興に資する力量を持った人材も包摂している。
2. 子どもの発達段階に応じた育ちのあり様を理解しようとする人材 [子ども理解力]
現場体験の中で子ども達の行動様式を観察・確認するだけではなく、心理学的な学びを深めることで、子ども個々人の内面からの洞察も加えられるようにする。
3. 子どもの学ぶ力を引き出す分かりやすい授業を展開できる人材 [授業力]
初等教育の基本となる、分かりやすくやる気を引き出せる授業を展開できる能力や児童の間違った思考過程をクラス全体の深い理解に活かせる柔軟な指導力を獲得する。
4. 子どもの個性を尊重しながら学級を運営できる人材 [学級運営力]
学級の構成員である子ども達の和を保ちつつ、それぞれの能力を引き出し、学校で学ぶことが楽しいと思えるクラス運営を実施できる力を獲得する。
5. 同僚の協力を得ながら生徒指導の諸課題に対応できる人材 [生徒指導力]
最近の複雑な様相を呈する生徒指導・進路指導の諸課題に、人間的幅の広さを備えて、他の教師と協力しながら対応できる力を培う。
6. 地域力を学校教育に導入・活用できる人材 [地域連携力]
児童の多様な能力を引き出すには、保護者を含む地域の教育力を学校に取り込み、地域と一体となって子ども達を育てる、柔軟かつ原則的な対応ができる能力を培う。
7. 同僚と協力して学校運営をできる人材 [学校運営力]
他の教師と協力して学校運営に携わることができるのは、学校に生起する諸課題を前向きに改善するために必要な資質であり、その力を獲得する。
8. 自分の守備範囲を拡げることにより意欲的である人材 [自己開拓力]
小学校の教員免許取得にとどまらず、特別支援学校や中学校の一種免許など時代の要請に応じて、自分が携わることのできる教育の範囲を絶えず広げようとする意欲的な姿勢を養成する。

・卒業要件

- ①本学に4年以上在学すること。
- ②必修科目を全て修得すること。
- ③『教養科目』から30単位（必修15単位含む）以上修得すること。
- ④『専門科目』から84単位（必修64単位含む）以上修得すること。
- ⑤上記①～④の条件を全て満たし、合計124単位以上修得すること。

【卒業判定手順】

各学部の規定に基づいて各学部教務委員会で卒業要件を確認して原案を作成する。3月初旬に各学部教授会構成員による「卒業判定会議」を開催、原案に基づいて個々の学生の修得単位の状況及び学修成果を確認の上、卒業判定を行い、その結果を学長に上申する。

卒業の認定に関する方針の公表方法

総合経営学部：<https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/business/policy/>
人間健康学部：<https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/human/policy/>
教育学部：<https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/education/policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	松本大学
設置者名	学校法人松商学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data02.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data04.pdf
財産目録	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data01.pdf
事業報告書	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data05.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data06.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:松本大学・松本大学松商短期大学部 2019年度事業計画 対象年度:2019年度)
公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/14/2019jigyokeikaku.pdf
中長期計画(名称:第2次中期目標・計画 対象年度:2018年度~2022年度)
公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/data/2018tyutyokiplan.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/12/2017_inspection_report.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/10/accredited2015u.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合経営学部
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/business/)
(概要) 地域社会の総合的運営に関わる研究を推進し、それを基盤に、社会を構成する諸組織体のマネジメントに関する理解と能力を高めつつ、地域社会を総合的に捉える素養と、それにもとづく総合的な経営能力を養う。もって活力ある地域社会の創造に貢献しうる人材を養成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/business/policy/)
(概要) 総合経営学部は、修得単位上の卒業要件 (①『教養科目』から 30 単位 (必修 13 単位含む) 以上修得すること。②『専門科目』から 84 単位 (必修 29 単位・選択必修 2~4 単位以上含む) 以上修得すること。③必修科目を全て修得すること。④選択必修科目 (4 年次) 「卒業研究」、「ワークインフォメーション」、「社会人になるために」のうち 1 科目 2 単位以上を修得すること。⑤前記①~④の条件を全て満たし、合計 124 単位以上修得すること。) を満たしたうえで、各学科の目標を達成した学生に学士の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/business/policy/)
(概要) 総合経営学部は、大学の使命・目的および学部としての人材養成目的を達成するため、次の方針に沿って教育課程を編成し実施する。 1. 人間形成に関わる教養教育時を重視する観点から、学生が全ての年次にわたって教養教育を受けられるようにする。 2. マナー・コミュニケーション等の基礎能力育成のため、実践的教養教育を充実させる。 3. 入学前から就職決定まで一貫した体系的キャリア教育を組み込む。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/business/policy/)
(概要) 総合経営学部は、学部及び学科の教育研究上の目的、並びにディプロマ・ポリシーに基づき、それぞれ学科の定める観点、項目に関心のある人材を受け入れるため、専門領域ごとの特性にあった多様な入学制度を設けて、幅広く人材を受入れることを基本としている。

学部等名 人間健康学部
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/human/)
(概要) 美しく豊かな自然に恵まれた環境のなかで、創造性に富み、人間性や社会性が豊かな人づくりを目指し、「食と栄養」、「運動・スポーツ」を通して社会の活性化を図るとともに、人々の健康の維持・増進を図り、医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/human/policy/)

<p>(概要)</p> <p>人間健康学部は、修得単位上の卒業要件（①『専門分野』の科目群から健康栄養学科は86単位（必修74単位含む）、スポーツ健康学科は82単位（必修32単位含む）以上修得すること。②『教養分野』の科目群から32単位（必修13単位含む）以上修得すること。③必修科目を全て修得すること。④前記①～③の条件を全て満たし、合計124単位以上修得すること。）を満たしたうえで、各学科の定める力を身に付け、総合的な能力を修得したと判断される学生に対し、学士の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/human/policy/）</p>
<p>(概要)</p> <p>人間健康学部は、幅広い教養並びに基礎的能力と専門的能力を身につけた人間形成を目指し、次の方針で教育課程を編成し実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教養科目をモジュール化して科目設定の意図を明らかにする。 2. 専門教育では講義、実験、実習、実技、及びゼミナールを階層的・横断的に配置し、専門基礎から、専門性応用・発展に段階的に勤めるようにする。科目間の関連はカリキュラムツリーにより明示する。 3. 専門的な技能や知識の学びに加え、学外における実践教育を重視し、地域の健康問題に「食と栄養」・「運動とスポーツ」などの面から関わりをもてる科目を設定する。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/human/policy/）</p>
<p>(概要)</p> <p>人間健康学部は、学部及び学科の教育研究上の目的、並びにディプロマ・ポリシーに基づき、それぞれ学科の定める観点、項目に関心のある人材を受け入れるため、専門領域ごとの特性にあった多様な入学制度を設けて、幅広く人材を受入れることを基本としている。</p>

<p>学部等名 教育学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/education/）</p>
<p>(概要)</p> <p>人類が永年の営みの中で創造し発展させてきた文化や科学を継承するという、教育Ⅱ化せられた崇高な使命を遂行する人材を育成する。知的好奇心を喚起する分かりやすい授業展開に加え、子どものこころと身体を理解し、固有の成長に寄り添い見守るという教育者としての基本を大切にしながら、教育の現代的課題に対応すべく、地域の小学校や釈迦との連携を強化し、実践的な力を身に付けた人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/education/policy/）</p>
<p>(概要)</p> <p>教育学部は、修得単位上の卒業要件（①本学に4年以上在学すること。②必修科目を全て修得すること。③『教養科目』から30単位（必修15単位含む）以上修得すること。④『専門科目』から84単位（必修64単位含む）以上修得すること。⑤前記①～④の条件を全て満たし、合計124単位以上修得すること。）を満たしたうえで、定められた8つの力を身に付け、総合的な能力を修得したと判断される学生に対し、学士の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/education/policy/）</p>

<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教養科目と専門科目のバランスが取れた配置で、専門性の獲得とそれを支える広く深い教養を身につけ、教育者あるいはその支援者としての魅力を高める。 2. 教養科目はモジュール化し、科目設定の意図を明示する。 3. 教師としての八つの力を基に、小学校教諭一種免許や特別支援学校教諭一種免許、中学校教諭一種免許（英語）、高等学校教諭一種免許（英語）を取得する専門的力量を身につけることができる専門科目を配置する。 4. 教育現場との交流を重視した「教育実践科目群」や「教育実習科目群」を配置する。 <p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/education/policy/）</p>
<p>(概要)</p> <p>教育学部は、学部及び学科の教育研究上の目的、並びにディプロマ・ポリシーに基づき、それぞれ7つの観点、項目に関心のある人材を受け入れるため、専門領域ごとの特性にあった多様な入学制度を設けて、幅広く人材を受入れることを基本としている。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/information_01.php

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3人	－					3人
総合経営	－	15人	3人	4人	0人	0人	22人
人間健康	－	14人	11人	4人	0人	8人	37人
教育	－	9人	7人	5人	0人	0人	21人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		80人					80人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.acoffice.jp/matuhp/KgApp					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>松本大学FD・SD委員会規程に基づいてFD・SD委員会を設置し、教育の質的向上に関する施策の企画・立案及び実施を行っている。計画に基づいたFD研修会等の実施の他、新任教員の研修会、各種講演会の開催も担当している。</p> <p>また、FD・SD委員会での検討に基づいて、授業評価アンケート（中間・期末）、教員相互の授業参観、卒業生アンケートを毎年実施している。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合経営	170人	203人	119%	680人	749人	110%	10人	5人
人間健康	170人	189人	111%	680人	722人	106%	10人	7人
教育	80人	95人	118%	240人	224人	93%	0人	0人
合計	420人	487人	115%	1,300人	1,695人	130%	20人	12人
(備考) 2019年度入学生の状況								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合経営	180人 (100%)	0人 (%)	167人 (92.8%)	13人 (7.2%)
人間健康	182人 (100%)	4人 (2.2%)	173人 (95.1%)	5人 (2.7%)
合計	362人 (100%)	4人 (1.1%)	340人 (93.9%)	18人 (5.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先：松本大学大学院、上越教育大学大学院 就職先：(株)ツルヤ、(株)アクティオ、長野ダイハツ販売(株)、長野日産自動車(株)、中信勤労者医療協会、(株)ミマキエンジニアリング、ヤマト運輸(株)、(株)エラン、サンリン(株)、松本ハイランド農業協同組合 ウエルシア薬局(株)、日清医療食品(株)、(株)モリキ、長野県警察、(株)カワチ薬品、(株)ミールケア、塩尻市役所、アルプス中央信用金庫、(株)メフォス、(株)エラン				
(備考) 2018年度卒業生の状況				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
総合経営	186人 (100%)	163人 (87.6%)	6人 (3.2%)	17人 (9.1%)	0人 (%)
人間健康	197人 (100%)	180人 (91.4%)	6人 (3.0%)	11人 (5.6%)	0人 (%)
合計	383人 (100%)	343人 (89.6%)	12人 (3.1%)	28人 (7.3%)	0人 (%)
(備考) 2015年度入学生の状況					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

授業計画(シラバス)については、学生にとっての分かりやすさという観点や、大学改革の状況等を踏まえながら、毎年全学教務委員会で様式の見直しを行っている。例年秋頃までに検討を終え、次年度シラバス入稿の準備を整えている。

11月中にはシラバス作成に関するFD研修会を開催し、変更点や注意点を中心に共通理解を図り、12月初旬に翌年度の授業担当者に対して作成依頼を行う。

シラバスの入稿の締切りを1月末頃とし、締切り後、各学部の教務委員が中心となって、第三者の立場から全学教務委員会で決定した様式に基づいて、形式をはじめ必要事項がきちんと記載されているか、表現の統一等点検を行う。

授業担当者へのフィードバック、修正依頼を経て、3月中旬にWebサイト上に公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

卒業の認定方針及び卒業の要件は、各学部・各学科で次のように定め、学生に配布する「学生便覧」、「履修登録の手引き」の他、Webサイト上においても公表している。

【総合経営学部】

総合経営学部は、修得単位上の卒業要件を満たしたうえで、次の目標を達成した学生に学士の学位を授与する。

・総合経営学科

1. 地域社会について理解し、地域一般に関する知識を身につけている。さらに加えて企業社会で活動するための基本的素養を身につけている。
2. 倫理観を含め、社会で活動するための基本的な人間性を身につけている。
3. マナー・コミュニケーション等、社会人としての基礎能力を身につけている。

・観光ホスピタリティ学科

1. 地域社会について理解し、地域一般に関する知識を身につけている。さらに加えて福祉社会についての基礎知識を持ち、ホスピタリティの知識・技術を身につけている。
2. 倫理観を含め、社会で活動するための基本的な人間性を身につけている。
3. マナー・コミュニケーション等、社会人としての基礎能力を身につけている。

・卒業要件

- ①『教養科目』から30単位(必修13単位含む)以上修得すること。
- ②『専門科目』から84単位(必修29単位・選択必修2~4単位以上含む)以上修得すること。
- ③必修科目を全て修得すること。④選択必修科目(4年次)「卒業研究」、「ワークインフォメーション」、「社会人になるために」のうち1科目2単位以上を修得すること。
- ⑤上記①~④の条件を全て満たし、合計124単位以上修得すること。

【人間健康学部】

人間健康学部は、修得単位上の卒業要件を満たしたうえで、以下のような力を身に付け、総合的な能力を修得したと判断される学生に対し、学士の学位を授与する。

・健康栄養学科

「食と栄養」に関する専門的な知識及び指導実践力をもって食と栄養に関わり、関連する課題把握、並びに課題解決に主体的に携わることのできる総合的な能力を身につけている。

1. 専門的な知識と実践力をもとに、食と栄養を中心に人とそれを取りまく環境を科学的に探究し、関連する課題解決に主体的に携わることのできる総合的な能力を身につけている。
2. 自ら生きる現代社会とその成り立ちに関心を持ち、広い分野にわたる分析力・理解力を身につけ、深めた事象の理解のもと、自ら判断し行動できる能力を身につけている。
3. 地域社会を構成する一人の人間として不可欠な社会的マナーと、相互理解を達成できる能力を身につけている。

・スポーツ健康学科

「運動とスポーツ」に関する専門的な知識及び指導実践力をもって運動とスポーツに関わり、健康の維持・増進並びにスポーツの振興に貢献できる総合的な能力を身につけている。

1. 専門的な知識及び実践力をもって「運動とスポーツ」に関わり、健康の維持・増進並びにスポーツの振興に貢献できる力を身につけている。
2. 自ら生きる社会と取り巻く環境に関心を持ち、広い視野で分析、理解し、自ら判断して行動する能力を身につけている。
3. 地域社会を構成する人として必要な社会性とコミュニケーション能力を、実習や実践を通して身につけている。

・卒業要件

- ①『専門分野』の科目群から健康栄養学科は86単位（必修74単位含む）、スポーツ健康学科は82単位（必修32単位含む）以上修得すること。
- ②『教養分野』の科目群から32単位（必修13単位含む）以上修得すること。
- ③必修科目を全て修得すること。
- ④上記①～③の条件を全て満たし、合計124単位以上修得すること。

【教育学部】

教育学部は、修得単位上の卒業要件を満たしたうえで、以下のような力を身に付け、総合的な能力を修得したと判断される学生に対し、学士の学位を授与する。

1. 長野県の初等教育を誠実に担って行こうとする意欲を持った人材 [地元力]
学校教育の周辺分野において、学校現場をサポートできる力量を持ち、地域社会の発展と地域文化の振興に資する力量を持った人材も包摂している。
2. 子どもの発達段階に応じた育ちのあり様を理解しようとする人材 [子ども理解力]
現場体験の中で子ども達の行動様式を観察・確認するだけでなく、心理学的な学びを深めることで、子ども個々人の内面からの洞察も加えられるようにする。
3. 子どもの学ぶ力を引き出す分かりやすい授業を展開できる人材 [授業力]
初等教育の基本となる、分かりやすくやる気を引き出せる授業を展開できる能力や児童の間違った思考過程をクラス全体の深い理解に活かせる柔軟な指導力を獲得する。
4. 子どもの個性を尊重しながら学級を運営できる人材 [学級運営力]
学級の構成員である子ども達の和を保ちつつ、それぞれの能力を引き出し、学校で学ぶことが楽しいと思えるクラス運営を実施できる力を獲得する。
5. 同僚の協力を得ながら生徒指導の諸課題に対応できる人材 [生徒指導力]
最近の複雑な様相を呈する生徒指導・進路指導の諸課題に、人間的幅の広さを備えて、他の教師と協力しながら対応できる力を培う。
6. 地域力を学校教育に導入・活用できる人材 [地域連携力]
児童の多様な能力を引き出すには、保護者を含む地域の教育力を学校に取り込み、地域と一体となって子ども達を育てる、柔軟かつ原則的な対応ができる力を培う。
7. 同僚と協力して学校運営をできる人材 [学校運営力]
他の教師と協力して学校運営に携わることができるのは、学校に生起する諸課題を前向きに改善するために必要な資質であり、その力を獲得する。
8. 自分の守備範囲を広げることにより意欲的である人材 [自己開拓力]
小学校の教員免許取得にとどまらず、特別支援学校や中学校の一種免許など時代の要請に応じて、自分が携わることのできる教育の範囲を絶えず広げようとする意欲的な姿勢を養成する。

・卒業要件

- ①本学に4年以上在学すること。
- ②必修科目を全て修得すること。
- ③『教養科目』から30単位（必修15単位含む）以上修得すること。
- ④『専門科目』から84単位（必修64単位含む）以上修得すること。
- ⑤上記①～④の条件を全て満たし、合計124単位以上修得すること。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
総合経営	総合経営	124単位	有・無	45単位
	観光ホスピタリティ	124単位	有・無	45単位
人間健康	健康栄養	124単位	有・無	45単位
	スポーツ健康	124単位	有・無	45単位
教育	学校教育	124単位	有・無	45単位

G P A の活用状況（任意記載事項）	公表方法： https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/04/2019_seisekihyoka_u.pdf
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）	公表方法： https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/04/2017_behaviorsurvey_d.pdf

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/guide/campusmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
総合経営	総合経営	700,000 円	250,000 円	280,000 円	
	観光ホスピタリティ	700,000 円	250,000 円	280,000 円	
人間健康	健康栄養	800,000 円	250,000 円	430,000 円	
	スポーツ健康	800,000 円	250,000 円	330,000 円	
教育	学校教育	800,000 円	250,000 円	330,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>教務課：各学部を担当する職員を配置し、学生の履修相談等、正課の授業に関する支援を行っている。資格取得支援担当も配置し、資格取得に関する支援・相談にも対応している。</p> <p>学生課：部活動や学友会活動をはじめとする、学生生活全般について支援を行っている。各種奨学金の情報提供や相談にも応じている。</p> <p>図書館：約 11 万冊の蔵書を持ち、学生の学修・研究の支援を行っている。視聴覚コーナーや個人・グループ学習用の専用スペースも設置している。</p> <p>情報センター：職員 4 名が常駐し、学内の情報機器全般について管理運営をしている。パソコンの購入相談、故障時のトラブル対応を行っている。</p> <p>国際交流センター：職員 1 名が常駐し、学生の短期・長期の海外留学支援及び外国人留学生の生活支援を行っている。</p> <p>基礎教育センター：基礎学力の向上、就職試験に向けた実力養成など、一人ひとりの目標に合わせて学べるよう基礎教育センターを設置している。専門員が常駐し、授業の合間や放課後にグループ学修や個別指導に対応している。</p> <p>教職センター：教員免許の取得を目指す学生を支援するために、教職センターを設置している。職員 3 名が常駐して教職課程の履修相談等の支援を行っている。他に相談室等を設置し、専門員を配置し、教員採用試験対策等の指導を行っている。</p> <p>地域づくり考房『ゆめ』：学生が正課外で行う、地域での実践的な活動を支援している。職員 3 名が常駐して、地域と学生を結ぶ役割を果たしている。</p> <p>地域健康支援ステーション：管理栄養士や健康運動指導士等の資格取得を目指す学生を中心に、専門性を活かした地域活動を支援している。管理栄養士、健康運動指導士それぞれの資格を持つ職員 2 名が常駐し、学生に実践的な学びの場を提供している。</p>

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

キャリアセンターを設置し、学生の就職活動支援を中心に支援を行っている。キャリアセンターでは、就職のみならず、大学院進学情報の提供や相談にも応じている。

<https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/support/career/>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

健康安全センターを設置している。保健師が常駐し、学内でのケガや急病、体調不良に対する応急処置を施している。また身体や心の健康に関するさまざまな相談にもカウンセリングルームを設置し対応している。

<https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/support/health/>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.matsumoto-u.ac.jp/research/>